

2022 筑波チャレンジクラブマンレース S-FJ 筑波/富士シリーズ 第1戦

2022年 3月 27日 天候:晴れ 参加18台

筑波/富士シリーズの第1戦が筑波サーキットで幕を開けた。
今年は若手選手の参加が大きく増え、活気のある雰囲気にも包まれた。無論、筑波はベテランドライバーの活躍も健在で、充実したレース内容で開催された。そして何より、新人ドライバーの活躍が目覚ましいレースが展開された。



テキスト:はた☆なおゆき

全国で続々とスタートを切ったスーパーFJ。

そのしんがりとなった筑波・富士シリーズの第1戦には実に18台が集まり、近年にない盛況ぶりを見せていた。

若手ドライバーや、今回がレースデビューというドライバーが多いのも嬉しい限り。

新たなヒーローの誕生が期待される。

筑波・富士シリーズとして3年目を迎え、その注目度は高まる一方。近年は10台を超える程度だったエントリーが、開幕戦は実に18台にも達したからだ。今シーズンは全8戦で争われ、うち6戦は筑波サーキットを舞台とするが、富士スピードウェイでもWヘッダー開催となる2戦が行われ、なおかつ年末恒例の「日本一決定戦」が、その富士で開催されることも大きく影響しているのだろう。

さらに関係者を喜ばせたのは、若手ドライバーが例年以上に増えていることだ。筑波は昭和の印象も残す、今ではオールドコースのひとつとなってしまったが、パドックの年齢層がグッと下がったことで、何やらフレッシュな雰囲気を漂わせてもいた。

《公式予選》

早朝にはからりと晴れ上がっていたものの、前日までの雨が残り、路面を黒く染める中、予選は8時45分から20分間の計測で競われることとなった。もちろん全車、選んでいたのはドライタイヤ。温度レンジとしてはアタックに程よい条件なのだが、ライン上から水が完全に履けてくれないと、好タイムは期待できない。新たなコントロールタイヤの特性的には、ピットで



の待機も作戦としてはありだろうが、全員が志願してコース清掃を打って出た格好になった。したがって序盤は誰も1分を切ることなく、低調なタイムが記されていく中、計測9周目に武者利仁選手（ゼンカイレーシング遊技闘速 ED）が59秒845でトップに立つも、これはややタイミングが早すぎたようだ。

それから程なくして、去年の最終戦・富士で衝撃のデビューウィンを達成した稲葉摩人選手（ZAPSPEED 10V ED）が、59秒335でトップに浮上。これが計測11周目。と同時に各自、本格的なアタックタイムに突入する。いったんは岩本瞬選手（ファーストガレージ小倉学園 S2）、白崎稜（ZAP スタッフリソース ED）らの先行を許した稲葉選手ではあったが、自身も徐々にタイムを詰めていき、機の熟すのを待っていた。

そしてチェッカーが振られた周に、ポジションは一気に動く。稲葉選手が58秒708でトップに浮上し、岩本選手が58秒732で2番手、そして白崎選手が58秒748で3番手に躍り出る。ラストアタックを活かすことはできなかったものの、田上蒼竜選手（AsカンパニーZAP 10V ED）が58秒751で4番手につけ、去年のランキング2位だった安田航選手（Fガレージ&Sウィングズ SII）は58秒757で5番手に。そして武者選手が先のタイムから1秒詰めて6番手につけ、ここまでトップからほぼコンマ1秒差という大接戦！ 決勝レースが大いに楽しみになってきた。

ポールポジション：稲葉摩人選手（ZAPSPEED 10V ED）

路面コンディションが安定しない状況でしたが、たぶんタイヤの内圧や路面状態が急に変わることはないだろうと判断し、最後まで走り続けて、最後の方でタイムを出そうと。ちょっと前、詰まったりしたこともありましたが、最後の周にクリアが取れて、なんとか出せる限りは出せたかな、という感じでした。



ただ、もうちょっとペースはあったというか、理論ベストでは全然後コンマ3、4秒は詰められたので、そこをまとめきれなかったのは悔しいですけど、決勝に向けていいきっかけ作りにはなったように思います。

予選2番手：岩本瞬選手（ファーストガレージ小倉学園 S2）

10周目ぐらいまでは様子見で、いずれ路面は乾くだろうと、それ以降でアタックしようと思っていて、ちょうどツポにハマったというか。それまではどの程度踏んだらロックするか、ずっと確かめていて、徐々に順位を上げていこうと思って、狙いどおりになりました。今まで特にカートとか一切やっていなくて、今年デビューです。12月ぐらいから練習していて、今32歳なんです。遅れてきたルーキー、そんな感じです！



予選3番手：白崎稜選手（ZAP スタッフリソース ED）

小3から中2までカートをやって、途中でやめちゃったんですが、大学生になって学生フォーミュラに触れて、やっぱりやりたいとなって戻ってきました。筑波のレースは初めてですが、去年の日本一決定戦でデビューして、自分がどの位置にいるか確認して、今日、臨みました。序盤はタイヤを温めながら、場所取りを意識しながら周回していたんですけど、けっこう乾かない感じで、攻めてタイヤを温めてというのを繰り返して、最後アタックをかけたんですけど、みんなベストをつなげられないような感じだったので、すごく僅差で悔しいです。スタートは得意な方なので、1コーナーでトップに立ちたいです。



《決勝レース》



予選のインターバルはわずか5分間、決勝レースもコースイン開始からたった5分後にフォーメーションラップ開始3分前というのは、いささか慌ただしすぎないか……というのは、ここだけの話として。予選の頃よりも雲は浮かぶようになったが、天候は穏やかなまま、そして路面はすっかり乾いて、上々のコンディションとなっていた。

20台近くともなると、グリッドはもう最終コーナーの方になるのかと、改めて感じられた筑波のスーパーFJ！ 宣言どおり好スタートを切ったのが3番手の白崎選手だったが、ポールの稲葉選手は、しっかり1コーナーにトップで飛び込んでいく。まずは稲葉選手、白崎選手、岩本選手、

田上選手、安田選手の順でレースは開始。

オープニングラップを終えた時点で、稲葉選手のリードはコンマ6秒。そして一列渋滞だったのが、稲葉選手のリードがコンマ8秒に広がるとともに、3周目の1コーナーで田上選手が岩本選手を抜いて3番手に浮上すると、やがて上位も分散して白崎選手と田上選手、岩本選手と安田選手が、それぞれチームメイトとバトルを繰り広げるように。5周目の1コーナーでは、田上選手が2番手に浮上する。

その間にもファステストラップの連発で逃げ続けていた稲葉選手は、コンディションの違いもあるが、7周目には予選を上回る58秒633をマークして、ついにリードが1秒3に拡大。しかし、これをピークに、時に田上選手のペースが上回るようになっていく。やがて、その田上選手も単独走行となって、白崎選手を振り切ることに。一方、岩本選手と安田選手のバトルはなおも続く。



終盤の稲葉選手はリードを広げることができなかったものの、それでも田上選手との間隔を一度も1秒を切るまで寄せつけることなく逃げ切り成功。昨年の最終戦に続く連勝を果たし、勝率100%をキープした。

2位は田上選手が、そして3位は白崎選手が獲得するも、ともにその表情は固く……。また岩本選手は最後まで安田選手のチャージを凌ぎ抜いて4位に。そして6位は予選12番手だった山下友基選手（ELEV Racing 10V ED）。オープニングラップのうちに9番手に浮上し、その後もオーバーテイクを重ねて、15周目には内藤大輝選手（RCIT RaiseUP MT）をも抜き去っていた。

筑波・富士シリーズ第2戦はGW真っただ中の5月5日（祝・木）に、引き続き筑波で開催される予定だ。稲葉選手の快進撃が、なおも続くか注目される。



ウィナー：稲葉摩人選手（ZAPSPEED 10V ED）

はい、スタートはちょっと危なかったですね。攻めずに置きにいった感じです。それでもトップはキープできました。後半は僕のミスです。ちょっと集中力をかいたのと、タイヤの内圧もだいぶ上がっちゃって、高速コーナーの安定感がなくなり、最終コーナーがしんどくなっちゃったので。でも、ある意味、タイヤの性質はつかめたので、次回のレースについては、いい方向で臨めるんじゃないかと思っています。

2位：田上蒼竜選手（As カンパニー-ZAP 10V ED）

抜いてきたのは、全部1コーナーです。予選4番手だったのが悔やまれるのと、2番手に上がってきてからもトップが遠かったです。ずっとプッシュしていたんですけど敵わなくて、いや〜、きつかったです。

3位：白崎稜選手（ZAP スタッフリソース ED）

スタートは良かったんですけど、シフトミスが響いちゃいました。だいぶ悔しいです。シリーズは筑波・富士で追いかけますので、この悔しさは次以降にぶつけます。



2022 TSUKUBA VICIC CHALLENGE CLUBMAN RACE

オーガナイザー: ビクトリーサークルクラブ
公認: 日本自動車連盟 (JAF)
コース: 筑波サーキット コース 2000

Round-1 2022, 3, 27

2022JAF筑波/富士スーパーFJ地方選手権シリーズ第1戦



Tsukuba Circuit(2,045m)

S-FJ 公式予選

2022 / 3 / 27 :

正式予選結果表

Weather : 晴れ
Track : セミウエット

Pos	No	Class	C.P.	Name	CarName	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	14			稲葉 摩人	ZAP SPEED 10VED	RD10V	58.708	20 / 20		125.400
2	52			岩本 瞬	ファーストガレージ小倉学園S2	KKS-2	58.732	19 / 19	0.024	125.349
3	26			白崎 稜	ZAPスタッフリソースED	RD10V	58.748	20 / 20	0.040	125.315
4	13			田上 蒼竜	Askanパニー-ZAP10VED	RD10V	58.751	17 / 19	0.043	125.309
5	53			安田 航	Fガレージ&Sウインズ SII	KKS-2	58.757	18 / 20	0.049	125.296
6	71			武者 利仁	ゼンカイレーシング遊技関連ED	KKS-2	58.843	19 / 20	0.135	125.113
7	22			内藤 大輝	RCIT RaiseUP MT	KKS-2	58.897	20 / 20	0.189	124.998
8	31			宇高 希	TAKEFIRST 10VED	RD10V	58.956	19 / 19	0.248	124.873
9	39			草野 裕也	TRF.S II ED	KKS-2	59.024	18 / 19	0.316	124.729
10	3	MASTERS	1	秋山 健也	スーパーウインズ KKS・ED	KKS	59.147	17 / 19	0.439	124.470
11	1			澤井 良太郎	オートルック立松ダクト 10V	RD10V	59.192	18 / 19	0.484	124.375
12	91			山下 友基	ELEV Racing 10VED	RD10V	59.226	19 / 20	0.518	124.304
13	7			本田 千啓	オートルック☆モダン☆10V	RD10V	59.251	16 / 19	0.543	124.251
14	66			戸谷 友規	DEEP-R・10V・ED	RD10V	59.277	19 / 19	0.569	124.197
15	73			下村 剛司	Sウインズ KENS2ED	KKS-2	59.315	19 / 19	0.607	124.117
16	79			中澤 凌	ZAP NAKs 10VED	RD10V	59.373	18 / 19	0.665	123.996
17	46	MASTERS	2	本間 隆史	MATレーシングPJ10VED	RD10V	1'00.107	19 / 19	1.399	122.482
18	16	MASTERS	3	竹沢 茂	スーパーウインズ☆KKS☆ED	KKS	1'01.347	18 / 18	2.639	120.006

***** 以上予選通過 (1'16.348 - 130%) *****

2022JAF筑波/富士スーパーFJ地方選手権シリーズ第1戦



Tsukuba Circuit(2,045m)

S-FJ 決勝

2022 / 3 / 27 :

正式決勝結果表

Weather : 晴れ
Track : ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	CarName	Type	Lap	Total Time	Gap	Best Time	Lap	Ave. Km/h
1	14			稲葉 摩人	ZAP SPEED 10VED	RD10V	18	17'46.152		58.633	7 / 18	124.294
2	13			田上 蒼竜	Askanパニー-ZAP10VED	RD10V	18	17'47.271	1.119	58.746	7 / 18	124.163
3	26			白崎 稜	ZAPスタッフリソースED	RD10V	18	17'49.749	3.597	58.838	18 / 18	123.876
4	52			岩本 瞬	ファーストガレージ小倉学園S2	KKS-2	18	17'50.424	4.272	58.807	17 / 18	123.798
5	53			安田 航	Fガレージ&Sウインズ SII	KKS-2	18	17'52.040	5.888	58.865	12 / 18	123.611
6	91			山下 友基	ELEV Racing 10VED	RD10V	18	18'00.389	14.237	59.283	10 / 18	122.656
7	22			内藤 大輝	RCIT RaiseUP MT	KKS-2	18	18'01.452	15.300	59.185	6 / 18	122.535
8	3	MASTERS	1	秋山 健也	スーパーウインズ KKS・ED	KKS	18	18'01.695	15.543	59.214	10 / 18	122.508
9	39			草野 裕也	TRF.S II ED	KKS-2	18	18'04.537	18.385	59.128	17 / 18	122.187
10	73			下村 剛司	Sウインズ KENS2ED	KKS-2	18	18'08.517	22.365	59.605	15 / 18	121.740
11	7			本田 千啓	オートルック☆モダン☆10V	RD10V	18	18'08.888	22.736	59.126	18 / 18	121.698
12	79			中澤 凌	ZAP NAKs 10VED	RD10V	18	18'16.600	30.448	1'00.089	6 / 18	120.843
13	46	MASTERS	2	本間 隆史	MATレーシングPJ10VED	RD10V	18	18'17.135	30.983	59.875	16 / 18	120.784
14	31			宇高 希	TAKEFIRST 10VED	RD10V	18	18'17.585	31.433	59.975	16 / 18	120.734
15	1			澤井 良太郎	オートルック立松ダクト 10V	RD10V	18	18'17.783	31.631	59.080	15 / 18	120.712
16	66			戸谷 友規	DEEP-R・10V・ED	RD10V	18	18'18.309	32.157	59.751	13 / 18	120.655
17	16	MASTERS	3	竹沢 茂	スーパーウインズ☆KKS☆ED	KKS	18	18'36.266	50.114	1'00.943	17 / 18	118.714
***** 以上完走 (16Laps) *****												
	71			武者 利仁	ゼンカイレーシング遊技関連ED	KKS-2	2	2'39.049	16Laps	1'06.994	1 / 2	92.575

